

令和5年度 青果物販売情勢について

令和5年7月20日（木）現在

【 果 樹 】

「もも」

山梨県産「なつっこ」が増量しており、発生比率の高い大玉が滞留し厳しい販売となっている。

中小玉（特に20玉・22玉）は量販店向けの注文多くスムーズな荷動きとなっている。

「暁 星」単価：特秀 20玉 3,300円 22玉 2,800-2,500円

「あかつき」単価：特秀 15玉 3,700-3,300円 18玉 3,500-3,000円

【 野 菜 】

「きゅうり」

海の日連休に荷動きを止めないよう売り込みを強化した中、成り疲れによる数量の減少で荷動き良く保合から弱保合で経過した。今後、東北産ピーク増量を見越し相場を下げる見通し。

単価：5kg A品 1,800-1,500円

「ミニトマト」

連休に注文を多く抱えM・S品の荷動きは良く保合となったが、2L・L品は各産地数量多く相場を弱めた。夏秋作の増加を見込むため、相場を弱める見通し。

単価：200g パック AM 160-140円

「いんげん」

福島県産の急増により相場を大幅に下げたが入荷量が落ち着いたため、相場は下げ止まりとなった。今後の数量は横ばいから微増の見込みだが荷動き重く相場は弱保合の見込み。

単価：2kg 箱 A 2,000-1,700円

JAふくしま未来
営農経済部園芸課